

三重県オリジナル種子繁殖型イチゴ

「うた乃」の特性について



令和7年9月
三重県農業研究所

目次

1. イチゴ種子繁殖型品種について
2. 「うた乃」の育成経緯
3. 「うた乃」の品種特性
4. 作型（二次育苗法と本圃直接定植法）
5. 「うた乃」の栽培注意点

1. イチゴ種子繁殖型品種について



栄養繁殖型品種

ランナーで繁殖
親と子は遺伝的に同じ

章姫、あまおう、かおり野、さちのか
とちあいか、紅ほっぺ、ゆめのか・・・etc.

現在栽培されているイチゴ品種は
ほとんどが栄養繁殖型品種



種子繁殖型 (F1) 品種

種子で繁殖
F1品種の形質を揃える

よつぼし、MYAGMIE-1(ベリーポップすず)、
MYAGFRA-1(ベリーポップはるひ)・・・etc.

よつぼし(2014(出願)～)を皮切りに
実用品種が増加

種子繁殖型品種のメリット

イチゴは、収益性が高く後継者が多い品目。
しかし、育苗作業の負担が大きく経営の効率化が難しい

栄養繁殖の品種



親から子への
病害虫感染

西南暖地の炭疽病被害

効率悪い



ランナー
(親株から発生するクローン)

種から育てる品種になると



従来型

40倍

種子型

5000倍

増殖効率抜群

病虫害伝染環遮断

「種」でうつる病気は極少

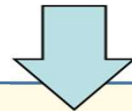


病虫害に感染していない大量の苗を
容易に得ることができる

➤ **苗生産の分業化が可能に！**

2. 「うた乃」の育成経過

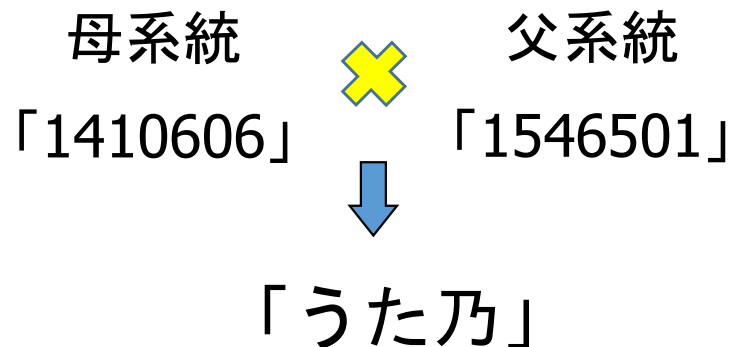
2017年に交配したF1系統の中から、炭疽病抵抗性と極早生性を持ち、光沢や形状、食味、果実の硬さなどの果実品質に優れた系統「18②」を選抜。



特性調査や均一性を確認し、

「歌のように広がり愛されるイチゴ」

との願いを込め、「うた乃」と命名した。



2022年3月：品種登録出願

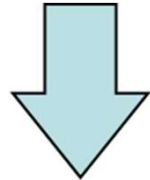
2022年9月：出願公表

(第36049号)

3. 「うた乃」の品種特性

- ☆果形は円錐形で揃いが良い
- ☆果皮は赤、果肉は淡赤
- ☆食味は良好で糖度が高く、
独特な風味が特徴

収量性は多収品種「かおり野」より低い



高品質な果実生産を行い、
高単価販売をめざす。



「うた乃」の生育特性

- 草 勢：強い
「章姫」並
 - 早生性：極早生性
「かおり野」並み
- 花芽分化時期はおおむね9月15～20日、11月下旬から収穫できる。花芽検鏡は必要。定植目安は9月20日頃。
- 連続出蕾性：非常に高い



収穫期（1月末）

促成栽培に適した極早生性品種

「うた乃」の果実特性

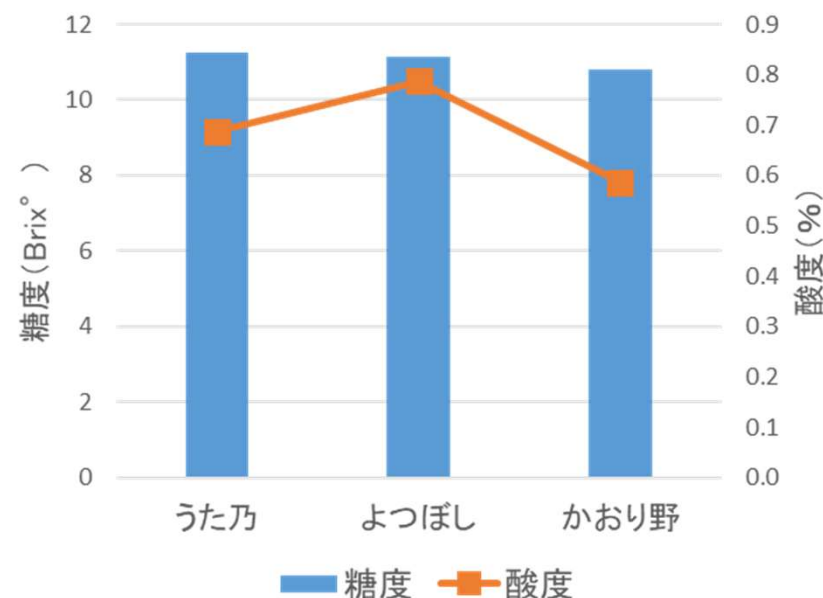
- ・果 形：形の良い円錐形
- ・果皮色：赤
- ・果肉色：淡赤
- ・食 味：高糖度・独特風味
- ・硬 さ：並



果実硬度は「かおり野」や「よつぼし」と概ね同等。

- ・大きさ：やや小さい

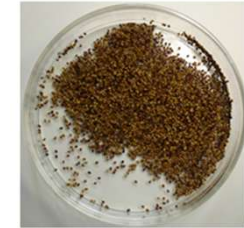
「よつぼし」と同等。かおり野・章姫・紅ほっぺ等の大果系品種よりは小さい。



果実の解凍滲出液の糖度・酸度
(2022：12.1～5.29の平均)

「うた乃」の病害抵抗性

- ◆ 種子から育てるため病害虫フリー
- ◆ 炭疽病抵抗性を持つ ※発生事例あり
- ◆ 萎黄病には抵抗性を持たない



原則：栄養繁殖型品種と同様の防除を行う



農薬の使用回数に要注意

ランナー切りがなく、農薬の使用回数は播種から栽培終了までが対象

種子繁殖型品種の特性



ドロ芽・ランナーの数

「かおり野」＜「うた乃」＜「よつぼし」

種子繁殖型は芽数が増えやすく、ランナーの発生も多い

- 不必要な芽は必ず、除去する。
10～11月が特に多く、第1次腋花出蕾までは、「うた乃」は心止まり株が発生しやすいため、2芽で管理。
- 春になると芽数が増加するが、弱い芽を除去し3～4芽までとする。弱い芽は果実も小さく、果梗も折れやすい。

4. 作型（二次育苗法と本圃直接定植法）

栽培体系が変わる

親株保管がいらないうえに
育苗労力を大幅削減



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
従来 品種		株保管		親株	増殖・育苗				定植	...		収穫
	収穫											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
二次 育苗					播種	購入苗 鉢上	2次育苗		定植	...		収穫
	収穫											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
本圃直 接定植					播種			定植	花成 誘導	...		収穫
	収穫											

- ◆セル苗購入二次育苗法 — 慣行法に近く安定した栽培法。
- ◆セル苗購入本圃直接定植法 — 大幅な省力化。育苗施設もいらない。
- ◆生産者による播種 — 苗代も節約。ただし、播種技術が必要。

セル苗購入の二次育苗法

慣行に準じた安定した栽培方法

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
				播種	(一次育苗)	購入苗鉢上	2次育苗	定植	...		収穫
収穫											

- 7月前半に406穴セル苗購入。すぐに鉢上げ。
- 8月中旬までは窒素を効かせた管理を行い、充実した苗を作る。
- 「うた乃」は炭疽病抵抗性であるが、雨よけ施設が無い場合は定期的な葉かき、その後の予防防除を行うとともに早期発見に努める。
定植時期の目安は9月20日頃。定植時クラウン径8mm以上。
- 苗を通路側に約45° 傾けて植える。傾いた方向に果房が出る。



406穴セル苗



9cmポット鉢上げ2週後



8月下旬



定植: 傾けて植える

セル苗購入の本圃直接定植法

大幅な省力化を実現。育苗施設がいない。本圃での花芽分化誘導が課題

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
				播種			定植	花成	...	...	収穫
収穫											



406穴セル苗



セル苗を本圃に直接定植
(傾けて植える)



花芽分化までに
株は大きく育てる

花成誘導の方法：本圃での窒素中断処理
液肥管理が必須

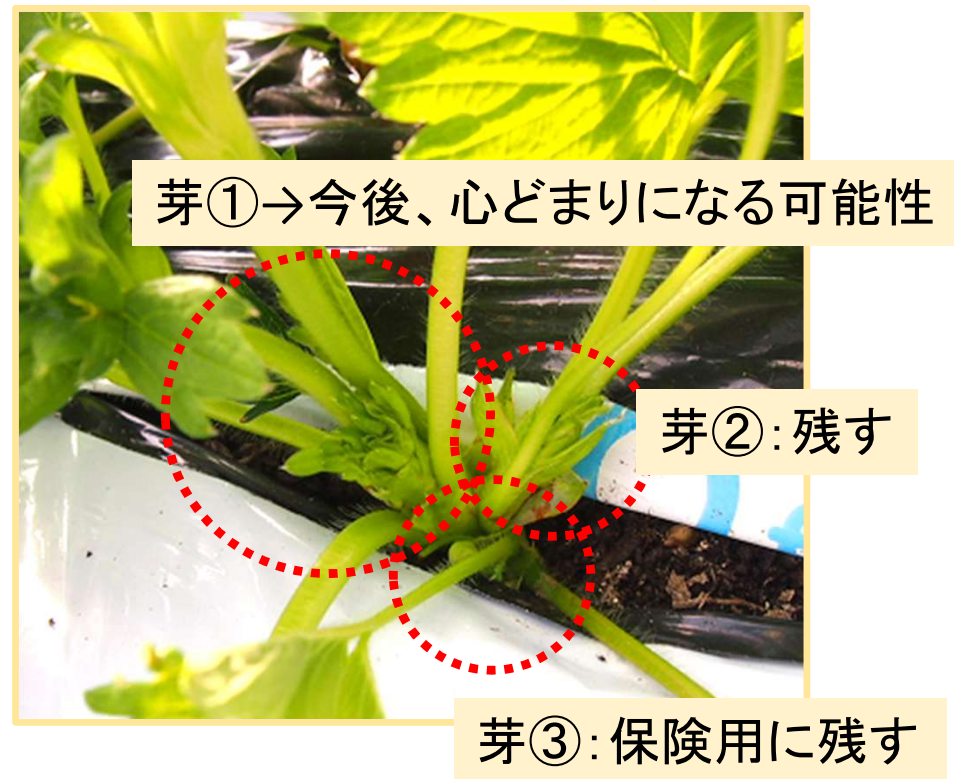
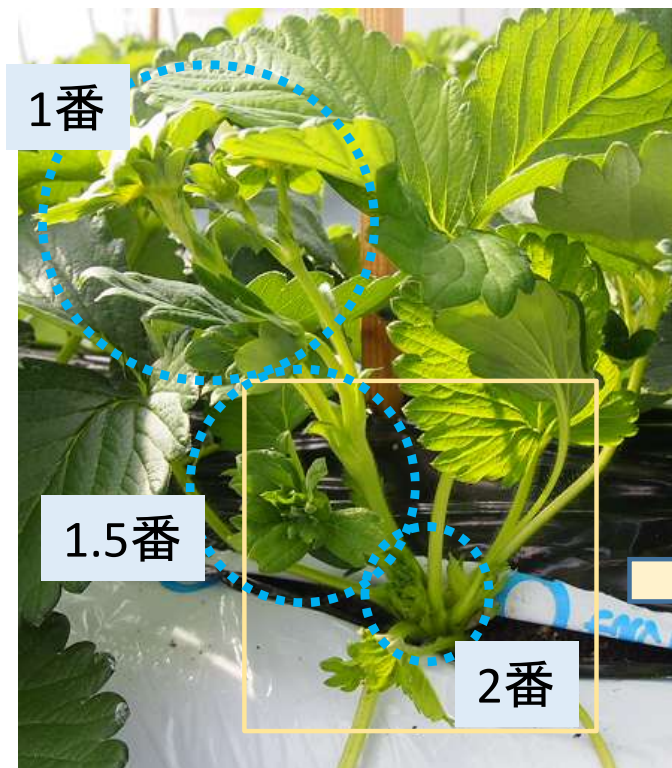
安定した花芽分化誘導が課題

5. 「うた乃」の栽培注意点

連続出蕾性があり、
1.5番花房が出やすい

➡ 心どまり株を想定し、2～3芽管理を

※1.5番花房：頂花房のあと、花房間葉数1枚程度で出蕾する第1次腋花房（2番）



「うた乃」の栽培注意点

乱形果

基本的には円錐形の果実が多いが、乱形果の発生事例あり。



R5年3月下旬



・急激な窒素吸収を避ける

高設栽培では、液肥管理を行い、急激な窒素施肥を避けた方が、安定した果実栽培ができる傾向があります。

異形株

種子繁殖型品種では、まれに死花などにより正常に生育しない株が発生することがある。

